

議会だより

第17号

■発行：佐渡市議会 ■責任者：竹内道廣 ■編集：議会報編集特別委員会
〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地 ☎(0259) 57-8133



「夷まつり」(両津地区)

6月定例会

- ★平成20年第3回 定例会 … 2p
- ★人事案件・請願・その他 3~4p
- ★一般質問…………… 5~12p
- ★常任委員会活動報告… 13~14p
- ★特別委員会活動報告…………… 15p
- ★議会のうごき・
議会の傍聴において下さい・
編集後記…………… 16p

平成20年 第3回 定例会

平成20年第3回（6月）定例会
が6月12日～27日の16日間の会期
で開催されました。一般質問には
14人の議員が登壇し市政をただし
ました。予算について、歳入歳出
に11億1045万1000円を追
加し、総額を438億3966万
9000円とする一般会計補正予
算案など9議案を可決、人事案件
5件に同意し閉会しました。

主な議題

- ◇専決処分の承認を求めることについて
佐渡市税条例の一部を改正する条例の制定について
佐渡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
平成20年度佐渡市老人保健特別会計補正予算（第1号）について
平成20年度佐渡市一般会計補正予算（第2号）について
- ◇佐渡市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇佐渡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇佐渡市小倉ダム管理条例の制定について
- ◇佐渡市監査委員条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇平成20年度佐渡市一般会計補正予算（第3号）について
- ◇人権擁護委員候補者の推薦について
- ◇佐渡市副市長の選任について

人事案件・請願・その他

◆佐渡市副市長の選任について

甲 斐 元 也

◆人権擁護委員候補者の推薦について

中 川 郁 子

◆佐渡市五十里財産区管理委員の選任について

内田 公一 名畑 力 辰間 策 濱田 稔

末武 正一 本間 邦雄 野田 宣明

◆佐渡市二宮財産区管理委員の選任について

矢田 有年 清水 紀治 本間 武男 尾崎 幸雄

寺野 榮二 五十立 秀男 相田 榮一郎

◆佐渡市真野財産区管理委員の選任について

鈴木 新正 知本 規矩治 白杵 誠五 安達 忠雄

野元 正昭 豊岡 昭夫 計良 孝行

◆佐渡市農業委員会委員の推薦について（議会選出）

金子 健治 猪股 文彦

可決された意見書

◆地域分権改革に伴う農業基盤整備への責任ある配慮を求める意見書

継続審査となった請願

◆ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願

◆適正規模の少人数学級の実現、義務教育費
国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予
算の充実を求める請願

◆へき地級地見直しに関する請願

◆後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意
見書を国に提出することを求める請願

人事案件・請願・その他

発議案

◆佐渡市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

佐渡市議会議員の定数を「28人」から「24人」に改正する。

◆佐渡市議会議員の報酬の減額に関する条例の制定について

本年6月5日発行の「議会だより」に掲載した一般質問の市長答弁の記事に事実と異なる表現があったため、多額の経費を伴う改訂版発行の措置をとったことについて、本条例により、本年8月分の議員報酬を議長10万円、副議長5万円、その他の議員2万2900円減額して議会の責任を明らかにする。

◇全国市議会議長会及び
北信越市議会議長会表彰

加 賀 博 昭

(市議会議員在職35年)

金 子 克 己

(市議会議員在職10年)

近 藤 和 義

(市議会議員在職10年)

※町村議会議員であった者は、その在職年数の $\frac{1}{2}$ に相当する期間を通算することになっています。



一般質問



ココが聞きたい!!

金子 健 治 議員…………… 6

◆望まれる佐渡総合病院新築

祝 優 雄 議員…………… 6

◆島民本意の改革が必要です

村 川 四 郎 議員…………… 7

◆佐渡の呼称
島の品格について

田 中 文 夫 議員…………… 7

◆市長選挙公約を実現しましょう

中 川 直 美 議員…………… 8

◆公約の出産費ゼロに
妊婦健診を

根 岸 勇 雄 議員…………… 8

◆佐渡百年の大計となる
佐渡病院改築について

小 田 純 一 議員…………… 9

◆佐渡病院への財政支援
一定の限度必要

金 光 英 晴 議員…………… 9

◆地産地消による
地域経済の活性化について

本 間 千 佳 子 議員…………… 10

◆自転車環境の街づくりについて

廣 瀬 擁 議員…………… 10

◆住民サービスの窓口対応は

中 村 良 夫 議員…………… 11

◆胸部レントゲン実施会場を
一元に戻して

加 賀 博 昭 議員…………… 11

◆議員の破廉恥行為は
プライバシーにあらず

小 杉 邦 男 議員…………… 12

◆市長選の結果を問う

近 藤 和 義 議員…………… 12

◆民主党が離島ガソリン税
減免法案提出



佐渡総合病院

一般質問

金子 健治 議員

望まれる 佐渡総合病院新築



研修病院の指定も望んでいる。

市立病院の運営について

【質問】 市立病院運営委員会から、このタイミングに具体的な答申が出されるのではなかったのか。市長は私

【質問】 島内完結型医療が望まれていた現状をふまえ、市民からの医療ニーズに対応し、良質な医療サービス

計画、用地計画、新病院の規模について問う。

の一般質問の答弁で、運営委員会の動向を見据えながら慎重に見極めたいと答弁されたが、この答申書で見極めされたのかを問う。

の安定的提供と、医師、看護師確保の観点から、高度医療機器を備えた中核病院として、また、機動性ある

【市長】 去る5月21日県厚生連からの要請書を受け、議会に示し、この佐渡中核病院建設については当然必要であると考えているところ

である。今後、支援の具体的な内容については、県厚生連、市民、議会の意見を聞きながら進めていきたい。

災害派遣医療チームDマツトを備えた災害拠点病院として、佐渡総合病院の移転新築が急がれるが、先に出

【福祉保健副部長】 資金計画については、病院建築費用の1/3として30億円の財政支援を市に要請している。用地

については候補地として考えているところはいくつかあるようである。病院の規模については、病床数350床、診療科目22科である。また看護専門学校について新病院の隣接地に移転すること。定員については10人増の40人を要請したと聞いている。管理型臨床

支援要請書に基づいた資金

【大竹副市長】 7回に渡り、精力的に議論いただいたその間に、総務省からガイドラインが示され、このことから困難を極めた答申作成であったと思う。

と聞いている。管理型臨床

規模については、病床数350床、診療科目22科である。また看護専門学校について新病院の隣接地に移転すること。定員については10人増の40人を要請したと聞いている。管理型臨床



一般質問

祝 優雄 議員

島民本意の 改革が必要です



ことは、1隻体制でより良い効果が表れるように協議をするのではないのか。今、2隻化体制の協議をする場面ではないのではないのか。

【質問】 離島に住む者として、航路・空路の交通体系は航路維持の根幹にかかわる協議が島民を置き去りに、本土の人たち

【市長】 小木直江津航路2隻化戦略検討会議は、関係機関の合意に基づき県が設置した

【市長】 船を造るのに時間もかかる。北陸新幹線開通時に合わせるために、どのような船が良いのか、利用実績と実情にあつた船を造るための協議に時間が必要と考えている。

で、本土で協議が行われている。佐渡汽船の経営失敗の根幹は、本土から佐渡を見る、佐渡から

2014年の北陸新幹線開業時には、2隻体制にの思いが

【質問】 時間が無いのであれば、余剰船を売る必要はなかった。経営責任を明確化するためには

勢そのものにあつたことを指摘してきたが、まだ気付いていない

内部改革が前提であることは当然である。いずれにしても本土側の意見で決まるのは正直

善し、達成率が21.6%との報告が出ています。2億円使った結果、8000万円の収益があつたことをどのように説明するのか。

津航路2隻化戦略会議」も中心は本土の間で、本土から佐渡を見ながら協議が進められて

【質問】 小木航路の1隻体制も佐渡汽船が1隻体制を公言してから、実施までに丸3

報告によると、小木直江津航路の経常損益が、約8000万円改善したとなっている。

と指導力を発揮するのではなければ、佐渡の交通体系、佐渡汽船の改革は成しえないと考えて

いる。利用者低迷により4月から、小木直江津航路を1隻体制に、余剰船1隻を売却しながら、翌月に2隻に戻すための検討を始める。この精神が私には

全く理解できない。知事主導で立ち上げたと、新聞の報道にも

と聞いている。管理型臨床

が伴った。なぜ、1隻体制

評価委員会の

と聞いている。管理型臨床

が伴った。なぜ、1隻体制

評価委員会の

と聞いている。管理型臨床

が伴った。なぜ、1隻体制

評価委員会の

と聞いている。管理型臨床

が伴った。なぜ、1隻体制

評価委員会の

と聞いている。管理型臨床

が伴った。なぜ、1隻体制

評価委員会の

と聞いている。管理型臨床

が伴った。なぜ、1隻体制

評価委員会の

と聞いている。管理型臨床

が伴った。なぜ、1隻体制

評価委員会の

と聞いている。管理型臨床

が伴った。なぜ、1隻体制

評価委員会の



一般質問

村川 四郎 議員

佐渡の呼称 島の品格について



【質問】 この島の標準地名は何か。「さどがしま」を否

定する理由は何か。標準地名を「さどがしま」へ統一することこそが「島の品格」であり誇り高き佐渡人を育てると確信するが。

【教育長】 標準地名は「さどしま」読みで「さどがしま」を否定するというのではない。公開討論会では多様な意見が出て、読みの統一は慎重にすべきと判断した。

【質問】 通常の呼称を決めようと言っているのではない。普段の読みは自由だが公式な場の本名を決める必要があると考えるが。

【市長】 私は「さどがしま」だが、もう少し市民の声、意見を聞いて進めるよう教育長に伝えている。

【質問】 教師が流人や罪悪人の島を連想するとして、「がしま」呼称を嫌う傾向があるのは、若者たちに悪影響を及ぼし大問題だ。

【質問】 「佐渡島」の歴史を胸を張って受け止めさせるべきだと考えるが。

【教育長】 我々は美しい島、トキの島、世界遺産の島として暗いイメージを否定し、議員の言う自信と誇りを持つて「島の品格」を子どもたちに伝える視点が必要と考える。

【質問】 成功例の公開と申請後のタイムリーな認定を要望する。

【企画財政部長】 広報や事例発表会で成功例の公開を検討中。認定作業も年1回から複数回にするよう検討中である。

【質問】 佐渡総合病院建設事業について

佐渡総合病院建設事業について

「がしま」呼称を嫌う傾向がある。

【質問】 佐渡の医療問題は新病院建設で解消できるのか。新病院建設へ市民の理解は得られているのか。病院建設の特別委員会を議会に要望すべきだ。

【市長】 新病院建設だけで問題の解決はできない。病院間の連携と医療ネットワーク構成が必要で、厚生連の要望を受けてこれから議論が始まる。特別委員会は議会と歩調を合わせて進める。

【質問】 新病院の規模は350床だが、急性期患者だけで満床だ。では、慢性期、回復期の患者はどうするのか。

【副市長】 病院連携の医療ネットワーク化の中のフォローを期待している。



2007 佐渡小獅子舞サミット



一般質問

田中 文夫 議員

市長選挙公約を 実現しましょう



選挙公約

①トキ放鳥と世界遺産登録を成功させ、美しく環境文化・豊かさが共鳴する潤いのエコランドをつくる。

②風浪被災地の復興支援に全力傾注、安心の改良復旧確保

③朱鷺と暮らす郷づくり認証制度で農業支援。島内産材重点発注で林業支援。共同畜舎新規参入奨励で畜産支援。

④寒ブリ、ナンバンエビなどブランド強化で、漁業支援。

⑤商店街へ顧客回帰のため、全島交通システム研究。

⑥学校給食は佐渡米100%を目指し、施設充実整備。

⑦景気回復と産業支援のため、島外移出産品の運賃補助。

⑧環境にやさしい企業やIT企業の誘致。

⑨北埠頭早期着工、加茂湖埋め立て、バイパス早期着工。

⑩離島振興協議会会長として離島航路支援、運賃値下実現。

⑪出産費の無料化、在宅介護の支援に努める。

⑫佐渡総合病院の移転新築に基幹病院として全面支援。

⑬空港建設は、地権者の理解を進め、羽田フライト実験実施。

⑭結婚問題に、各種出会いイベントや講座の開設。

⑮文化伝統芸能の教育で、島の未来を支える人材を育成。

⑯行政改革に努め、生まれた財源で市民サービス充実。

【質問】 選挙公約実現に向けた具体的な指示をしたか。また、来年度に着手、具体化する事項は何か。

【市長】 ①②の具体的に指示し、着実に行われている。激甚災害の指定を受けるべく現在活動中である。

③の認証制度は本年度450ha、来年は500ha以上間違いなく実現する。問屋のニーズが高く、今年の分はほとんど売却済み、大体1億当たり

2000円は高く売れるもくろみを立てている。佐渡杉ブランドは来年から立ち上げる。子牛の値段が低迷しているが、できたら国の支援を受けたい。

⑤の地域公共交通システムは陸海とも国交省の補助が決まり、早速1回目の会議を行った。

⑦の運賃補助は金額の多寡にかかわらず、実現したい。

⑫について公約に偽りはなく、ただ、基本的な条件提示はさせていただく。

【産業観光部長】 ④について寒ブリは地域団体商標登録を受けるべく出願予定。10kg以上で漁獲後血抜きをして海洋深層水で締めたものに証明を付ける。

【教育次長】 ⑥について平成19年度は週3.2回、20年度は3.5回、空手形にならないよう最善の努力をする。

【福祉保健部長】 ⑪について出産費の無料化については、市長から指示を受け関係部署・保健所・医師等交えて数回話し合いを重ねた。ただ、いろいろなバリエーションがあり課題の整理をしている。

【総務部長】 ⑯は集中改革プランで、平成20年度に8億円生み出すと取り組んでいる。



一般質問

中川 直美 議員

公約の出産費ゼロ
に妊婦健診を



新しい法律で夕張市に
ならないか

【質問】夕張市の時よりも厳しく、佐渡のような条件不利地には厳しい「財政健全化法」の実施で、佐渡市の財政は大丈夫か。「4つの指標」が1つでもオーバーすれば国の関与の下におかれるが、状況を問う。

【市長】公表する平成19年度については、算出している最中だが、現在4指標とも十分クリアしている。

出産費ゼロの中身は

【質問】市長の公約の「出産費用ゼロ」の中で、県内最低水準の妊婦健診や歯科健診の拡充を図るべき。また、子育て支援策として、小学校の部活遠征費の補助を元に戻すことや子どもの通院助成の年齢引き上げで、

放棄地の再生計画」にトキの放鳥にも役立つ「棚田復活」や「ピオトープ（餌場）」の施策を全島に広げ

ればトキにも喜ばれ、農家への支援につながるのではないか。

【市長】厳しい農業情勢だと思いが、現在のところ考えていない。耕作放棄地対策については、今後検討していく。

保育園の指定管理移行
には十分な期間が必要

【質問】保育園の統合計画は、どのようにするのか。また、真野第2保育園は、デイサービスと保育園の複合施設であるのに、3か月の移行期間で指定管理（民間）にするのは、判例でも最低1年以上の移行期間が必要とされていることに反する。どのようにするのか。

農業への支援策を

【質問】今、食糧問題が深刻で、米価は、生産費割れしており、多くの農家は悲鳴を上げている。農業・農家を支援する施策として、米価下落時の価格補填の条件である「認定農家」を外せば、多くの農家が対象となる。補填の農家積立金への立て替え払い等の取組みは、また、今年計画を立てなければならぬ「耕作放棄地の再生計画」にトキの放鳥にも役立つ「棚田復活」や「ピオトープ（餌場）」の施策を全島に広げ

【市長】統廃合等は、平成29年までの計画で、情勢の変化を見極めながら進める。保育の質が低下しない方向で移行期間も含めて保護者と協議しながら進める。



一般質問

根岸 勇雄 議員

佐渡百年の大計となる
佐渡病院改築について



【質問】佐渡病院の改築には用地の無償提供と大幅な助成が必要だ。用地については現在地に近い所という話だが、地代や地盤改良等に莫大な経費を必要とする。国仲の中心であれば現在地

にこだわらなくてもよいのではないか。畑野地内には県有地の総合高校の牧草地が約5町歩あり、その周辺の土地買収も困難とは考えられない。市長は検討する考えがあるか。

【市長】移転の候補地については、議員の指摘の候補地も含め数か所、厚生連に情報提供しているが、現時点では千種沖を予定している。と聞いている。

【質問】佐渡空港については、その後の用地交渉はどのようになつたのか。旭伸航空も赤字で存続できないがその後の航空会社は決まったのか。また、大型機就航時の利用客のシミュレーションは。

【市長】用地については、もう少し交渉を進める。旭伸航空撤退後の会社については県と協議中。空港整備後は東京便を中心に一定の需要があると考えている。

【質問】高波被害については民間の住宅等の施設で国の災害の対象にならない被害の救済があるか。

【市長】国の災害援助法は、個人の財産保全は自己で対応するのが原則。市の災害救助条例も支援内容は国の基準に準じている。



脳外科手術の様子（佐渡総合病院パンフレットより）



一般質問

小田 純一 議員

佐渡病院への財政支援 一定の限度必要



質問 用地の位置、佐渡市の主体的判断は可能か。

市長 基本的には厚生連。過程において提案も可能である。

質問 予定地は地価や軟弱地盤から、用地整備費が膨大になる。支援限度額が必要と考えるが。

市長 土地の問題については一定の限度を設けて支援する等腹決めをしていく。

質問 支援内容は佐渡医療圏における市民病院の役割や経営形態とかかわってくるが検討しているか。

大竹副市長 医師確保の視点からは、サテライト方式は避けて通れない。佐渡全体のネットワークの中で市民病院のあり方も検討する。

市長 島民のための医療制度を議会とともに議論したい。

農業政策の転換を

質問 世界的食糧危機の影響で、国民の胃袋を外国に委ねたツケが深刻化した。

市長 国も大きく方向を変えようとしている。チャンスではないか。

質問 畑野小学校等改築計画が遅れている。老朽校舎は耐震化対策からも、改築前倒しにより、児童の安全確保と保護者の不安解消をすべきだ。

市長 一定の配慮はしたい。統合計画との調整を図りながら計画的に進めていきたい。

大竹副市長 医師確保の視点からは、サテライト方式は避けて通れない。佐渡全体のネットワークの中で市民病院のあり方も検討する。

市長 島民のための医療制度を議会とともに議論したい。

質問 給食における地産地

消費を高める方策として、手作りの日の設定や職員の増配置を。また、児童が食材選びも含め自分で作る「弁当の日」の設定の検討を。

教育次長 生産者、職員等関係者の理解を深め、体制を整えて準備する。「弁当の日」は進めるべく保護者と話し合っている。

学校改築の前倒しを

質問 畑野小学校等改築計画が遅れている。老朽校舎は耐震化対策からも、改築前倒しにより、児童の安全確保と保護者の不安解消をすべきだ。

市長 一定の配慮はしたい。統合計画との調整を図りながら計画的に進めていきたい。

大竹副市長 医師確保の視点からは、サテライト方式は避けて通れない。佐渡全体のネットワークの中で市民病院のあり方も検討する。

市長 島民のための医療制度を議会とともに議論したい。

質問 給食における地産地



児童が安心して学習できる校舎を



一般質問

金光 英晴 議員

地産地消による 地域経済の 活性化につなぐ



質問 農業振興のためには、青果市場や学校給食用食材の地産率の向上が必要であるが現状と対策を問う。また、生産者から消費者への地産率向上の流通システムはどうするのか。

市長 学校給食の地産率を上げるのは予算投入で解決する。全体的には民パワーでの直売場設置で活性化が期待できる。

産業観光部長 地産率は12・5%。学校給食は学校、JA、市場、卸売業者が情報を共有し、島内産物を優先的に学校に供給する仕組みを進めている。

教育次長 学校給食は新潟県産が27・1%。その内、佐渡産は17・4%、今年度は18・8%を目標としている。

大竹副市長 医師確保の視点からは、サテライト方式は避けて通れない。佐渡全体のネットワークの中で市民病院のあり方も検討する。

市長 島民のための医療制度を議会とともに議論したい。

質問 給食における地産地

行財政改革について

質問 昨年度の行財政改革特別委員会の提言に対する取り組みと進捗を問う。

市長 公共施設の補助金、負担金、機構改革の3つの提言を受け、各施設を見直し、調整済み施設から順次処分を進めている。

質問 指定管理者公募中の施設の現在の経営状況、指定期間、今後の運営について問う。

企画財政部長 平成19年度は、太鼓体験交流館は指定管理料199万9000円、収支は390万円の赤字。21年から5年間の指定管理の募集中である。

産業観光部長 クアテルメ羽茂、潮津の里、サンライズ城が浜、それぞれの指定管理料は2940万円、600万円、1770万円。収支はそれぞれ94万5000円、764万円、856万円、5000円の赤字となっている。3施設とも今後2年間の指定管理を募集中心である。

質問 給食における地産地



一般質問

本間千佳子 議員

自転車環境の街づくりについて



デル事業として進めている。防犯登録台数は、昭和62年から今年5月31日までの間で、2万2437台であり、おおむね一家に1台となる。

【質問】 島内を走る自転車は、競技のスタイルや、デザインに変化のある楽しいものを見受けるようになり、佐渡は自転車をとおりて活気づいてきた。全国的に、自転車は環境負荷の低い交通手段とされ、健康志向の高まりから利用ニーズが広がっている。これまで開催された「スポニチ佐渡ロングライド210」などの反響と、自転車文化の構

【質問】 佐渡は環境の島を指し、観光地でもある。自転車で、あちらこちらを回るポタリングやサイクリング・ロードの現況について問う。

【質問】 平成19年7月に国土交通省から通知されている「自転車走行環境整備に関する取組み内容」について、島内の自転車利用状況を問う。

【質問】 佐渡は環境の島を指し、観光地でもある。自転車で、あちらこちらを回るポタリングやサイクリング・ロードの現況について問う。

【質問】 平成19年7月に国土交通省から通知されている「自転車走行環境整備に関する取組み内容」について、島内の自転車利用状況を問う。

【質問】 佐渡は環境の島を指し、観光地でもある。自転車で、あちらこちらを回るポタリングやサイクリング・ロードの現況について問う。

【建設部長】 走行環境の整備は、道路管理者と警察が連携して行うものである。今年2月に全国98か所が指定され、県では新潟駅前他4か所をモ

【質問】 佐渡は環境の島を指し、観光地でもある。自転車で、あちらこちらを回るポタリングやサイクリング・ロードの現況について問う。

【教育次長】 地域駐在所から話があり、不審者の件もあって、生徒には夕刻は通らない対応をしている。

【質問】 佐渡は環境の島を指し、観光地でもある。自転車で、あちらこちらを回るポタリングやサイクリング・ロードの現況について問う。

【総務部長】 窓口サービスについては、ベテランと新人

【質問】 佐渡は環境の島を指し、観光地でもある。自転車で、あちらこちらを回るポタリングやサイクリング・ロードの現況について問う。



佐渡ロングライド210（「市報さど」より）



一般質問

廣瀬 擁 議員

住民サービスの窓口対応は



人口が減少している。人口問題は経済問題であると同時に、若者定住問題でもあり、地域活性化問題でもある。対応策の妙案はあるか。

【質問】 窓口サービスが住民と接する一番の顔である。合併後職員の対応が悪いと住民からの苦情を聞くが、職員のやる気をアップさせる対応は。

【市長】 妙案はあってもお金がつかない。環境に優しい島づくりにあった企業の誘致を進めたい。高校以上の専門学校を誘致した。佐渡病院の新築に合わせ、看護専門学校の増員もお願いした。専門学校は今年1月に設置許可が下りたばかりで入学者が少なかったが、来年以降に期待したい。若者の就職口が問題である。

【市長】 支所職員の数が少なくなり、それぞれに担当を作り対応している。気配り担当を置き、日々職員の住民担当には気を配っている。できるだけ公平な立場で接し、住民の中にはかなりの無理を言ってくる人もいるが、サービスを提供している立場から、住民の苦情は真摯に受け止める必要がある。注意していくところがあれば、直していかねばならない。

【企画財政部長】 定住促進策として、U・Iターン層の掘り起こしと空き家の所有者と定住を希望する人の仲介をして地域活性化を図る。準市民制度に登録してもらいたい、佐渡に来てもらう人たちの取組みを島暮らしサポーター等の協力を得て推進する。

【質問】 合併以後、職員異動が激しいが、どのように配置したのか。

【質問】 佐渡は環境の島を指し、観光地でもある。自転車で、あちらこちらを回るポタリングやサイクリング・ロードの現況について問う。

【質問】 佐渡は環境の島を指し、観光地でもある。自転車で、あちらこちらを回るポタリングやサイクリング・ロードの現況について問う。

【質問】 佐渡は環境の島を指し、観光地でもある。自転車で、あちらこちらを回るポタリングやサイクリング・ロードの現況について問う。



市発行書類の16%を取扱う佐和田支所の窓口

人口減少の歯止めと定住促進は

【質問】 毎年1000人ずつ